

東京大学果樹園跡地利用 町民意見募集結果概要

実施期間：平成24年6月11日から平成24年9月30日

提出提案数：35

●主な提案

<暫定利用>

意見	意見数
果樹園・オリーブ	5
農園	4
公園	4
パークゴルフ	3
集会施設	3
防災関係	2

<将来構想>

意見	意見数
農園	7
公園	7
果樹園・オリーブ	5
太陽光発電	4
カフェ	3
温泉	3
イベント広場	2
学校	2
子どもが遊べる施設	2
憩いの場	2

東京大学農学部果樹園跡地利用 町民意見募集結果概要

No	地区等	区分	意見概要
1	中里	男 暫定利用	<ul style="list-style-type: none"> ・③地区は果樹園として利用。例として、ふれあい農園のように町民に有償で貸し出す。 ・②地区は広域避難場所となっていることから、中里に無償で貸し出す。災害時の防災拠点として利用し、日常の整備も含めて自主管理する。 ・②地区に残る建物は、町で補修工事を行い、存続させ利用する。地元での集会やイベントに使用する。フィルムコミッション利用や町内外のハイカーの立ち寄り場所。休憩スペースや資料スペース ・①地区は芝生を植えて見晴らし公園。有料のパークゴルフ場。
2	百合が丘	男 将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・循環社会モデルパーク「二宮版”ダッシュ村”計画」 ⇒「都心に一番近い田舎」二宮を対外的にアピール 誰でもいつでも村の住人となって、できる限り自給自足体験ができるダッシュ村を作る。 ・中規模人口地域医療「”ドクタービレッジ”計画」 ⇒かかりつけ医療を通じて、町民が安心できる自治体主導の地域医療モデルを創出 日常的な診療のための開業医の集合地「ドクタービレッジ」をつくる。
3	緑が丘	女	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの温泉スタンドを使って公共の湯として銭湯をつくる(一部民間委託)。併せて、道路を整備する。
4	二宮	男	<ul style="list-style-type: none"> ・管理公園的施設をつくる。 名称:(仮名)二宮竹文化保存竹林公園 竹を利用した文化を残すことにより、むかしからの潤いと安らぎを現代の生活に与えるとともに、竹伝統工芸等の保持育成を図る。
5	中里	女 将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・建物のある土地は建物ごと保存。建物は補強し、1階を喫茶店、2階はギャラリーやミニライブ会場とする。 ・この場所自体を保育園等に使うのではなく、大きな公園とし二宮町を「安全でゆとりある 子育ての町」とアピールして新たな住民を増やす。
6	百合が丘	女 暫定利用 将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫体験農場(野菜・果物・花卉) 野菜・果物・切花の収穫を楽しむ(有料)。 ・上記がうまくいったら継続
7	二宮	男 暫定利用 将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ①青少年を対象とした「総合的体育施設」(グラウンド、プール等) ②一部は現存の森林を残して「町民の憩いの場」及び「災害時避難場所」として「森林公園」とする。 ③小規模な高齢者用娯楽会館を建設する。 ①学校教育の一元化と効率化を図るため、小中一貫校を建設する。 ②集約後の二宮小学校跡地は「駅前町民会館」の跡地を含めて一体的な利用を図る。 当該地の立地から考え、「役場」「町民会館」「その他町施設」を集約した「総合庁舎」を建設する。 ①、②の実施の財源として、集約後の施設跡地及び現有有給土地の売却を考える。
8	二宮	女 暫定利用	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹公園のような形で果樹を栽培。町民に開放して公園のような所として利用する。
9	緑が丘	男 暫定利用 将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原厚木道路北側の空地にはオリーブを植える。 ・学生宿舎ほかすべての建物は解体する。 ・果物は実がなるようにし、収穫時に安値で販売する。 ・小田原厚木道路の空地はオリーブ畑とする。 ・飛び地(③地区)はぶどう畑にし、収穫時に有料で摘み取りができるようにする。 ・深大寺公園のバラ園や大船バラ園のようにバラを植え「湘南バラ園」として有料で運営する。
10	緑が丘	男 暫定利用 将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・山すそ等にオリーブを植栽し、跡地内の歴史的作業場や建造物また池などを配した緑地を有効活用し、町民交流の場を構築する。 ・高齢化社会対応に向け周辺地域の近未来の再開発への展開も視野に入れ、オリーブ関連を基軸とした「総合アウトドア イベント広場」を創造する。 ・オリーブを主体にみかん等二宮町の特産物の総合開発の拠点とする。 ①栽培や付加価値創出のための研究・管理センター ②加工・集配送等作業コーナー ③レストラン又は特産品販売店舗の設置 ④音楽で若者や文化的行事で集約できるイベント広場 ⑤オリーブ畑

No	地区等	区分	意見概要
11	大磯町	男	<ul style="list-style-type: none"> ・「長寿と緑の里・二宮」の縮図となるような農園型テーマパーク 1.果樹園として 土地をほぼそのまま有効利用し、果樹や野菜を育て、その「農産物」や「苗」を町民に提供する。 2.農園芸指導所として 栽培方法などをアドバイスし、町民が農園芸に親しみをもって参加できるようにする。 3.農産物の研究開発所として 発展型として、農産物の加工や発酵醸造施設をつくり特産品を開発する。 4.町民公園として 農菜園のあいだに遊歩道を設け、町民が散策できるようにする。また、小田原厚木道路の上は、眺望を活かして町民が屋外で食事をしたり、果樹園を眺めたりできるエリアとする。 5.食育や環境を考える教室として 収穫された果物や野菜を使って料理教室や栽培教室を開く。町民や子どもたちに向けて食育を兼ねたカルチャーセンターのような施設とする。 6.集会所・展示会・マーケットとして 定期的「ファーマーズ・マーケット」を開き、農産物や特産品を販売する。また宿舎を改修して集会所として町民に解放したり、イベントや展示会に利用。 ・将来的には、食と農を結びつけた実践型の教育研究施設に発展させることもできる。また二宮インターからも至近であることから「道の駅」のような施設として町外からの来訪者に特産品をアピールする展開も考えられる。
12	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも多く、自然を残す。 ・町の電気を作り、町民はそこから電気を購入する。 ・中途半端なものは作らないで欲しい。
13	山西	男	暫定利用 <ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ場を作る。使用料金を取り、管理人を雇うことで、高齢者の働く職場を増やすことができる。
14	—	女	暫定利用 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが遊べて、キウイフルーツを食べてもらい楽しむことができるようにする。 将来構想 <ul style="list-style-type: none"> ・市民で運営できるスペースの庭園があると良い。
15	富士見が丘	男	暫定利用 <ul style="list-style-type: none"> ・町民主体の果樹園再生、研修活動。同時に青少年自然アドベンチャー、サバイバル公園。 ・古跡の調査(町民主体)
16	百合が丘	女	暫定利用 <ul style="list-style-type: none"> ・建物は、防災センターとして活用。 将来構想 <ul style="list-style-type: none"> ・自然の景観を活用して、町民の憩いの場である自然公園。
17	緑が丘	男	暫定利用 <ul style="list-style-type: none"> ・町営キャンプ場 将来構想 <ul style="list-style-type: none"> ・町営キャンプ場、バーベキュー場、レクリエーション施設(子どもと遊べるもの)
18	二宮	男	暫定利用 <ul style="list-style-type: none"> ・学生宿舎の清掃整備:ボランティアを募集する。畳を板張りにして集会施設に使用できるように園の整備の拠点とする。 ・東大が持ち出した農器具を返還してもらう。 ・駐車場を整備し、家族でボランティアに参加できるようにする。 ・宿舎の中と野外にトイレを新しく作り直す。 ・東大に情報を公開してもらう。(開設の経過、学問・研究の成果、閉園の理由、建築物の設立年月日、図面等) 将来構想 <ul style="list-style-type: none"> ・全国唯一のリンゴとみかんが収穫出来る農園を東大が開園したことをメインテーマに果樹公園として整備し小中学生のフィールドワークに利用できる設備を整えていく。 ・来町者の回遊コースに組み入れ湘南二宮のグレードアップに繋げる。 ・観光農園にも利用し、果物の収穫の楽しさを味わってもらう。芝の広場を作り、子連れの親子が遊べる空間も併設する。
19	—	男	暫定利用 <ul style="list-style-type: none"> ・緑化の整備。当面は憩いの場として利用。 将来構想 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外活動ができるようにする(バーベキュー、アスレチック的な遊び場)。 ・果実は農家の方と連携し、収穫時に販売する。 ・建物は残す(歴史として)。
20	—	男	暫定利用 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に町民に開放する。 将来構想 <ul style="list-style-type: none"> ・吾妻山とセットで果樹園としてアピール。

No	地区等	区分	意見概要
21	二宮	男	<p>暫定利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の試験的な場所(永久となると当該地はもったいない)
			<p>・ゾーン分けする</p> <p>共通施設ゾーン: 現有建物を保存活用し、施設の核とする。多目的に活用、駐車場、駐輪場を設ける。</p> <p>森林公園ゾーン: 池を活かす。散策路をつくる。</p> <p>果樹園ゾーン: 旧果樹公園の運営ノウハウを活かす。ボランティアグループの育成。</p> <p>貸農園ゾーン: 大きめの区画で5年くらいの中期契約</p> <p>ミニミニパークゴルフ場ゾーン: ゴルフ協会が、企業、ライオンズクラブ等と協力し造成。メンテナンス、運営を行う。</p>
		将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・県道から直接アプローチできる道路をつくるのが先決。 ・市町合併のことも考えるべき。
22	—	女	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが雨でも晴れでも思い切り遊べる場所。
23	二宮	女	<ul style="list-style-type: none"> ・養護学校
24	富士見が丘	男	<p>暫定利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メガソーラー発電所。 一口10万円で町民に出資を募り、発電した電力を東電に売って、得た収益を配当する。
		将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・箱ものをつくるのは得策ではない。太陽光発電を継続させてもよい。一部この電力を利用して熱帯果樹を育てる事業を展開する。オリーブと複合させて、フレッシュ・フルーツタウンとして全国的に定着させる
25	—	女	<ul style="list-style-type: none"> ・うつくしい植栽の町民ガーデンとして観光客がくる憩いの場。 ・建物をリフォームしてCAFÉレストランやおみやげ屋、ハーブや果物を販売する店。 ・となりの温泉スタンドを買って、温泉施設。 ・貸し農園
26	緑が丘	女	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原のマロニエのような雨の日でも子どもが集まれる無料の施設。
27	二宮	女	<p>暫定利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民連携組織の運営による再生活動自体を講座にした「コミュニティ大学」 ①再生活動に絡めた年間カリキュラム化 ②地元学で魅力的なツアー企画 ③活断層の調査なども絡めた防災学習 ④邸園文化の掘り起こし ・地域ブランドづくりに貢献する定例的な朝市の実施 ・地形を生かした冒険遊び場(プレーパーク)の整備 ・イベント会場としての貸し出し ・住民が主体、行政は下支え ・地域金融・地域ファンド・ファン債等試行 ・残存する樹木・物品の調査・リスト整理 ・将来土地利用キーマンの育成
		将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が主役の共育まちづくりを進めるまちなか遊学文化村構想 町内に遊学文化拠点を配置し、それを遊学文化回廊でつなぐ。東大果樹園跡地は重点核とする。東大周辺は農業体験・実習や教育研修ができる炭素循環農法を生かした有機農業公園や地域ブランド拠点整備 一部を田園都市住宅の整備を行う。 現存する洋風木造建築を県内の材木で再生させ、地産地消、地域ブランドのモデルルーム兼情報発信基地の機能を持たせ、有機農業公園を整備し、共育のまちづくりの体験学習、農業体験・実習、研修の場として整備する 有機農業公園の中の市民農園と連動して一部を邸園文化を創出する田園都市住宅として販売
28	山西	女	<p>暫定利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリパーク「農業公園」を暫定から将来利用に順次解放。 主要施設: 貸農園、体験果樹園、バーベキュー場、入浴施設、センター施設、駐車場 駐車場、貸農園、バーベキュー場など少しずつ設営。
		将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴施設、センター施設などは長期計画で、最終形態に向けて完成させる。
29	富士見が丘	男	<p>暫定利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは樹木の整備育成、果樹園の再生、建物も歴史的価値があるので修理保存し、自然豊かな散策地域に活用。
		将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・ラディアン地域を行政文化施設地区として一体活用し、当該地は自然を生かした町民憩いの場。 ・高速道路より上は景観が一段と良い場所なので、吾妻山同様に他に誇れる花地域にする。 ・下の部分は、自然と歴史的建物を保存した環境地域。

No	地区等	区分	意見概要
30	中里地区長		<ul style="list-style-type: none"> ・町民が利用できる施設。企業や国、県に貸出しないよう要望する。 ・梨、柿木のある、6,000平方メートルは、町に在住する方に家庭菜園として貸し出す。 ・小田原厚木道路の上のみかん畑だったところ、4,000平方メートルも当面は家庭菜園として住民に貸し出す。 ・残りの土地については、災害時の仮設住宅敷地用地と、災害時ヘリポート用地として27,000平方メートル確保する。 ・小田原厚木道路の上はソーラー発電所として利用する。 ・天然ガスの利用により、発電所を確保して、跡地利用する。 ・災害時の長期に渡る避難所として利用できるよう、敷地確保して緑の公園として活用する。長期計画により鉄筋の耐震建物で避難場所として利用できる建築を願う。
31	二宮	女	<p>暫定利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地はなかなか買えないので大切にしたい。果樹公園や風致公園の用に自然を残した公園。キャンプもできればなお良い。
			<p>将来構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オリーブの町にのみや」と名打つならば、町営オリーブ農園。 ・設備投資が苦しいので、風致公園などで良い。 ・立地条件、活用状況、設備予算などを吟味し、必要なれば急がず風致公園が一番無難。
32	二宮	男	<p>暫定利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮称：フルーツ&ガーデニング公園 果物が楽しめ、花と庭造りの工夫を堪能できる公園
			<p>将来構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町施設の拡充 温水プール(緑が丘のプールの代替) 露天風呂付入浴施設 自然エネルギー利用発電施設 ラディアン機能の分散化施設(閲覧室が不足) 全天候型屋外ステージ 天体観測のできる二宮タワー
33	—	男	<ul style="list-style-type: none"> ・町民キャンパス 様々な人たちの自由な活動拠点。目的意識を持った研究室。自発的な取り組みが展開される部室。 二宮文化の舞台、子どものための不思議な公園、セントラルパーク、研究施設、「実り」の場所など
34	中里	男	<ul style="list-style-type: none"> ・花、ハーブ、農作物、果実を育て、素敵なガーデンにして菜の花に負けない観光地にする。 ・イングリッシュガーデン、貸し農園(クラインガルテン) ・建物をリフォームして、レストランやお土産を販売する。(cafeも) ・温泉スタンドを買って、小さな温泉をつくる。
35	中里	男	<p>暫定利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前提として、建物を建てず、自然を増やす方向で活用して欲しい。 ・果樹園の再生、老朽化した建造物の補修、周囲を季節の花が彩る広場とする
			<p>将来構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町営の農業試験場・コミュニティスペースとして利用 町が主体となり、二宮ブランドの特産物開発や、町内外の人が農業体験できる施設として活用 子どもに自然体験できる場所として利用する